

瑞宝双光章を受章 井野口さん

危険業務従事者叙勲の伝達式が5月9日に県庁昭和庁舎で開かれ、井野口尚倫さん(小川)が消防功労で瑞宝双光章を受章しました。

井野口さんは、昭和48年の入職当時は甘楽分署に勤務し、以来平成25年に消防本部消防長として定年を迎えるまで40年の長きにわたり消防業務に精励されました。在職中は、救急救命士法の制定初期に同資格を取得し、医療機関と顔の見える関係の構築を行い地域住民の安全に尽力したほか、災害時には県をまたぎ救援活動を行うなど、高い使命感を持ち職務を全うされました。

井野口さんは「職務として当たり前のことをやってきたまでですが、受章を光栄に思います。妻はもちろん家族や先輩、同僚など周囲の支えがあったからこそで、感謝しています」と話されました。



子どもの読書活動を推進 図書館が大臣表彰



茂木館長(左から2番目)と司書の皆さん

甘楽町図書館が4月23日、国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都)で行われた表彰式において「子供の読書活動優秀実践図書館」として、文部科学大臣表彰を受賞しました。

図書館では、季節に沿った絵本や児童書などの特設コーナーの設置、学校と連携し児童生徒が作成した図書を紹介するポップの展示や図書館見学の実施、「ポポラの日」と題して子育て支援センターに司書を派遣するなどの取り組みを行っており、子どもたちの読書活動への関心を高めたと評価されました。

茂木伸二館長は「子どもたちへの読書活動推進が認められ、素晴らしい賞をいただくことができました。これからも町民の皆さまに愛される図書館を目指します」と喜びを語りました。

タマネギの収穫に歓声！

かんな保育園(妙見良子園長)の4歳児・5歳児クラスの約40人が5月18日、飯塚 章さん(小幡)の畑で食育活動としてタマネギの収穫体験をしました。

園児たちは飯塚さんからとり方を教えてもらい、力いっぱいタマネギを引き抜きました。「大きい!」「とれた!」と次々に歓声を上げながら、収穫を楽しみました。



新屋イーグルス 5 連覇 町春季少年野球大会



第45回町春季少年野球大会が5月7日に甘楽野球場で開かれ、新屋イーグルス(岡部浩一監督・山崎正翔主将)が優勝しました。大会結果、個人賞は次のとおりです。(敬称略)

- 優勝…新屋イーグルス(左写真)
- 準優勝…福島ガッツ 第3位…小幡ロイヤル
- 最優秀選手賞…黒澤 陽(新屋イーグルス)
- 殊勲賞……………堀口碧斗(新屋イーグルス)
- 敢闘賞……………磯貝実花(福島ガッツ)
- 敢闘賞……………伊藤直賢(小幡ロイヤル)

笑顔でつながる 北区とママさんバレーで交流

町と友好都市・東京都北区とのママさんバレーボール交流第30回記念大会が5月14日、甘楽町体育館で行われました。

各2チーム、約50人による交流試合では、笑顔あふれる和やかなムードの中にも白熱した戦いを繰り広げ、長年続く友情の絆を深めました。



第30回を記念する大会が4年ぶりに行われました

日本選手権で第3位・日本代表に 競泳・三浦さん

▶
ガ
レ
ー
ス
結
果
に
ズ



第99回日本選手権水泳競技大会が4月4日から9日まで東京アクアティクスセンター(東京都)で開かれ、筑波大学4年の三浦玲央さん(福島)が50m背泳ぎ(25秒24)・100m背泳ぎ(54秒69)でそれぞれ3位に入賞しました。

三浦さんは、50mでは予選・決勝ともに自己ベストを更新し、100mでも自身初の日本選手権表彰台に輝くなど見事な成績を収めました。

大会結果により、8月に中国で開催されるワールドユニバーシティゲームズ(WUG)日本代表に選出された三浦さんは「世界大会の選考を兼ねていたので結果を出さなければいけないプレッシャーもありましたが、それ以上に日本のトップで戦えることの楽しさを感じ自分らしい泳ぎができました。初めての日本代表ですが、周りから良い刺激をもらいながら自己ベスト更新とメダル獲得を目標に頑張ります」と新たな意気込みを語ってくれました。



水泳部の仲間と喜ぶ三浦さん(中央)

絆は永遠に 旧秋畑小でタイムカプセル開封

厳重に包まれた中身を取り出す参加者



参加者が見守る中、ふたが開けられそれぞれ自分に宛てた封筒などを手にすると、当時を懐かしみ思い出話に花が咲きました。

5人いた最後の卒業生の1人で秋畑在住の中野建さんは「大人になり世界が広がってもこのメンバー、ここが自分のベースだと感じます。懐かしい思い出がたくさんよみがえります」と話しました。

秋畑小学校開校150周年記念のタイムカプセル掘り出し式が旧秋畑小学校校庭で5月6日に行われ、埋設当時の教職員や児童、地域住民など約30人が参加しました。

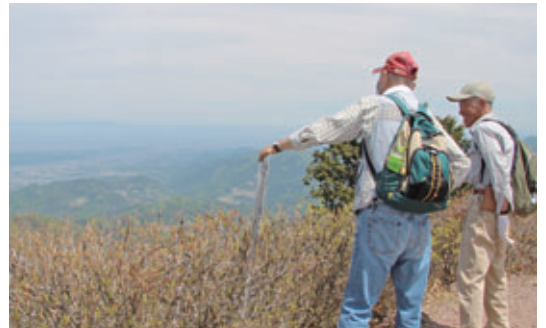
カプセルは平成25年3月に小学校が139年の歴史に幕を閉じた際に手紙や写真などを入れ埋められていました。



久しぶりに集まった恩師や旧友と記念の1枚

稲含神社 春季例大祭・山開き

町の最高峰「稲含山」の山腹に位置する稲含神社で5月3日、春季例大祭が行われ五穀豊穡や家内安全を祈願し太々神楽が奉納されました(下写真)。



晴天に恵まれたこの日は稲含山が山開きを迎え、登山客が山頂で360度見渡せる壮大な景色を楽しんでいました(上写真)。

かんらちゃん登場

かんらちゃんが端午の節句に合わせて「道の駅甘楽」に登場しました。自慢のかぶと姿でこいのぼりを手に観光客を明るく元気いっぱいに出迎えました。写真をSNS(ソーシャルネットワークキングサービス)に投稿する人もいるなど、かんらちゃんが町の魅力アップに貢献しました。

また4月22日にも「めんたいパーク群馬」で町のアピール活動を行いました。



お茶づくりで地域活性化

秋畑協議体



▲お茶を楽しむ
おたっしゃ会参加者

自ら暮らす地域で生きがいを見つけ、助け合う仕組みづくりを目標に掲げ活動をしている「長寿の里・秋畑協議体(神道良則代表)」では、地域のためにさまざまな取り組みを行っています。

その一環として、以前秋畑で盛んだったお茶づくりをすることで地域の活性化につなげようと約15人が参加し5月6日、茶の摘み取りから乾燥させるまでの工程を試行錯誤しながら行いました。作ったお茶は、地元のおたっしゃ会などで振る舞われました。

神道代表は「お茶づくりの経験者が自身の体験を教えるなど住民同士の交流が深まりました。居場所づくりに留まらず、それぞれの人の自己肯定感や生きがいにつながることを期待します」と話しました。

羊が衣替え 高校生が毛刈り体験

甘楽ふるさと農園管理組合(吉田恭一組合長)と町職員、町と産学連携協定を締結している富岡実業高校・生物生産科の3年生9人が5月22日、同農園内の上野ひつじ公園で羊の毛刈りを行いました。

生徒たちは羊を傷つけないコツを聞いた後、専用のバリカンで慎重に毛刈りを行い、羊たちもすっかり夏の装いになりました。

塚本 華さんは「最初は怖かったけれど、羊がおとなしく無事に毛刈りができました。楽しかったです」と笑顔で話しました。

来年から刈った羊毛を希望者にお譲りします。
希望する人は、甘楽ふるさと農園管理組合(☎74-7428)にご連絡ください。



さわやかに澄み渡る空の下



木漏れ日が降り注ぎ七色の影を演出

咲く池のほとりに
カキツバタ



「かんらDEアンブレラスカイ」が甘楽総合公園で4月下旬から約1カ月にわたり開催されました。約350本の風に揺れる傘と足元に映る色とりどりの影をスマートフォンなどで撮影する人の姿も見られました。

国指定名勝楽山園ではカキツバタが咲き誇り、新緑の映える季節に町には多くの観光客が訪れました。